

私に出来る事

備前緑陽高校 二年 田中 陽菜

資金が無い。人材が足りない。そんな備前市がこれから光輝くように私なりに考えました。想像しながら読んでください。
アルファ備前、とても大きく、駐車場もあり、建物としてはしっかりしています。使わないなんてもったいないとは思いませんか。

ならば観光地にして人を集めよう！そんなこと誰しもが考えるでしょう。ですが人材、予算の関係でやはり何もできなくなり、提案がでるのみです。ならば私たち高校生の課題にしてはもらえないでしょうか、備前緑陽高校がおばけ屋敷を開きSNSで拡散し、友達から知人などから集めて、社会貢献し備前のためにがんばりたいです。お金もかからず、人材も余るほどいます。これも新しい一つの道ではないでしょうか

ですがやはり、私たち子供の力だけではできる事が減ってしまうのが現実です。資金と人材が、この備前市に足りていないのは明らかかな事です。人がいないから電車が少ない電車が少なく不便で住人が増えないどころか減り続けていく一方です。この

負の循環から抜け出さない限り、何も変らず右下がりになっていきます。

ですが備前の大きな行事は何個かあってもちよいやき、ひな祭りではとても賑わいます。ですがイベントはあっても人が集まるのはその日限りです。備前市の人口が増えたわけではありません。イベントは十分大切ですが次に人がいつきてもあるような観光地を作ることです。パワースポットだったり、おもしろいめずらしい、備前にしかないもの。それは備前市への一年間の出入りの平均が上がり、電車の本数の増加が期待できます。すると移動手段が増え住みやすくなり、人が増えいつのまにか、良い循環になっていくのではないのでしょうか。

私が思う備前は、まず備前緑陽高校の活性化です。工業、商業、福祉、普通科、あらゆる学問が一つの学校に集まっているのは備前緑陽高校ぐらいです。なのに人が少なすぎると私は思います。緑陽の受験倍率を上げる事から私には思いません。緑陽の受験倍率を上げる事からです。緑陽に行きたいと思われるには、それだけ行事が必要で、文化祭一つでも他とはちがう。例えば「クラス合同、学校全体、宝さがし大会」や夜行祭など、学びたい学問が多い

からこそ、たくさんの方が集まることのできる可能性を秘めています。そして在学者数を増やし、今一学年200人を200人にし緑陽の人口を増やす、そしてどんどん大きくしていく、そうすると最初に言ったアルファ備前も促進していくと思います。私はこの高校を変えるのが私にできる事です。私は生徒会長に立候補します。そしてチャレンジ精神をモットーとして、備前市を変えていく大きな課題の第一歩目として備前緑陽高校を変えていく。それが私に出来る事です。



No one can make you be considerate; it is your decision.